

佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



授業の時間以外も きっちり準備 しっかり学び合い

まさに主体的・協働的な学び!



『教育課程編成の基礎と課題』

↑【ディベートに向けて院生室で案を練る様子】

「パブリックディベート」の流れをみんなで確認し、作戦（対策）を練っています。

深い学びへ



↑【ディベートを取り入れた講義の様子】

いよいよ本番のディベートです。2チームで学習指導要領について熱く論じ合いました。

大学院では、院生の発表やグループワーク、ディベートを多く取り入れた授業構成となっています。準備は授業がない時間や放課後に行います。様々な参考文献や資料を探し、プレゼンテーションソフトを使って、分かりやすく内容を伝えようと構成を考えます。また、グループで発表を担うこともあるので、話し合いも時間をかけて行います。

各授業で出された課題について話し合うことで、現職職員の経験談やこれまでに得た知識、ストレートマスター（以下、ストマス）の斬新な意見が飛び交い、お互いに刺激をもらっています。さらには、調べることで専門的な知への興味が高まります。課題を解決するのは大変ですが、院生同士で助け合いながら、やり遂げた時の達成感を味わうこともできます。

教職大学院の現職職員とストマスの熱い議論は、授業以外の時間においても活発に行われているのです。

切磋琢磨！全力投球！七転八起！

院生室は現職とストマスの協働と深い学びによって、授業の時間以外もやる気でいっぱいです。

違う視点をもった2チームが学習指導要領について論じ合うことで、新たな発見がありました。その後のリフレクションでは、教授によるまとめと助言があり、様々な角度で学習指導要領を捉え直す、よい示唆をいただきました。

M1で食事会を開催しました!!



5月終わりに、M1で食事会を開催しました。年齢差を超えて、とても会話が弾みました。さらに、お互いの意外な一面を見ることができ、より絆が深まりました。

最後には、20名で助け合いながら乗り切ろう！と固く誓い合いました。



↑【『授業づくりと学級経営の基礎と課題』の授業（院生実践発表）で作成】

院生オリジナルコップをつくりました。7月のお誕生会で使えたらいいなあ。